

# 2021年度淑徳大学卒業時調査報告

淑徳大学 高等教育研究開発センター

## 2021年度卒業時調査の目的

2021年度末の淑徳大学卒業生を対象に行い、「**本学の卒業認定・学位授与の方針**」や「**教育課程編成・実施の方針**」に基づいた教育や学修成果について評価するとともに、**今後の教育改善に資する事を目的として、3月にマークシートにて実施。**

なお、2021年度より**能力・知識の項目は卒業時に聞く項目のみにしぼり、17項目から7項目としている。**

# 2021年度卒業時調査の回収率

学部名	学科名	対象者	回答枚数	回収率
総合福祉学部	社会福祉学科	175	144	82.29%
	教育福祉学科	127	120	94.49%
	実践心理学科	81	68	83.95%
コミュニティ政策学部	コミュニティ政策学科	93	85	91.40%
看護栄養学部	看護学科	95	91	95.79%
	栄養学科	67	60	89.55%
経営学部	経営学科	98	94	95.92%
	観光経営学科	83	79	95.18%
教育学部	こども教育学科	87	84	96.55%
人文学部	表現学科	77	72	93.51%
	歴史学科	66	51	77.27%
大学全体		1049	948	90.37%

※学部並び順は同一キャンパスを優先している。

※対象者数は3月卒業生数である。

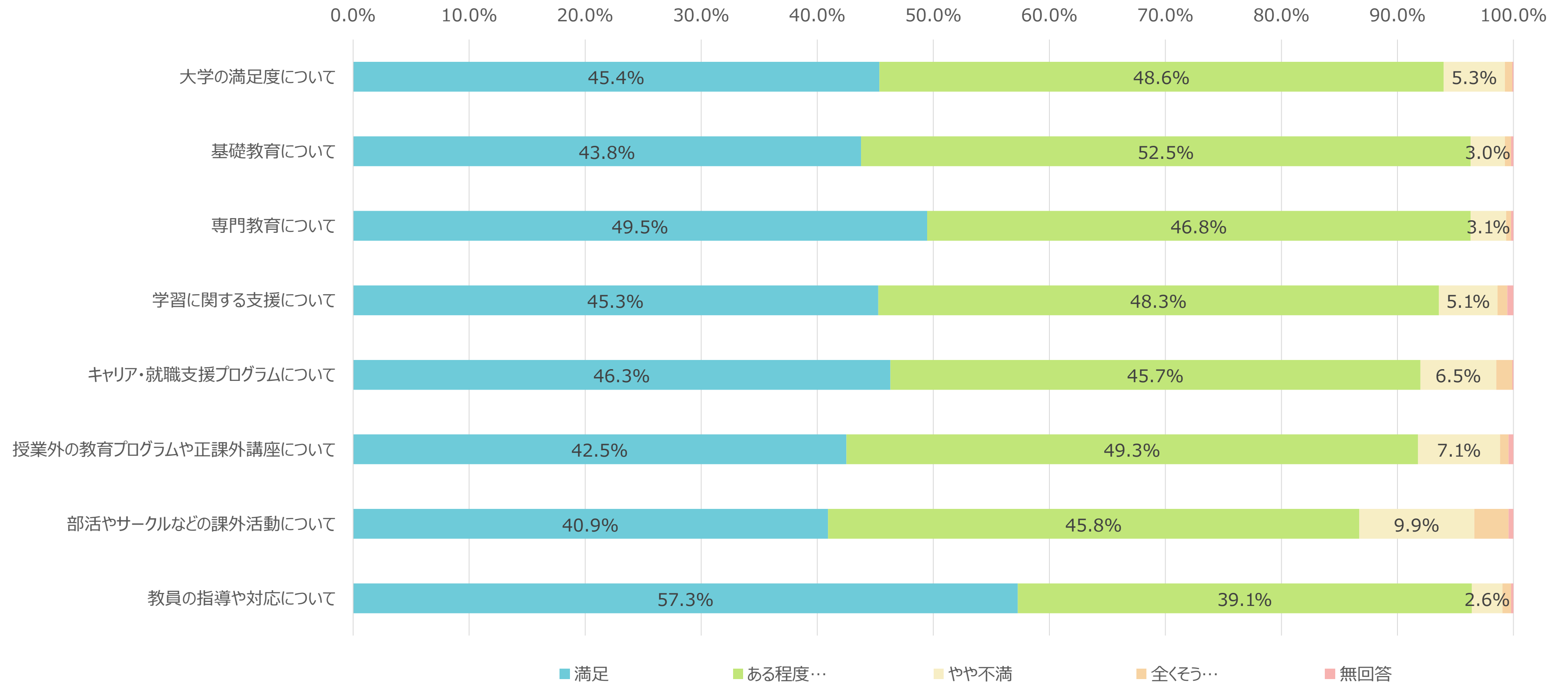
※回答は学科欄にマークされていないものであっても学籍番号及び氏名で確認できた場合は、該当学科に入れている。



# 【設問】大学の満足度について

	大学の満足度について	満足	ある程度満足	やや不満	全くそう 思わない
1	大学の満足度について	4	3	2	1
2	基礎教育について	4	3	2	1
3	専門教育について	4	3	2	1
4	学習に関する支援について	4	3	2	1
5	キャリア・就職支援プログラムについて	4	3	2	1
6	授業外のプログラムについて	4	3	2	1
7	部活やサークルなどの課外活動について	4	3	2	1
8	教員の指導や対応について	4	3	2	1

# 【設問】大学の満足度について

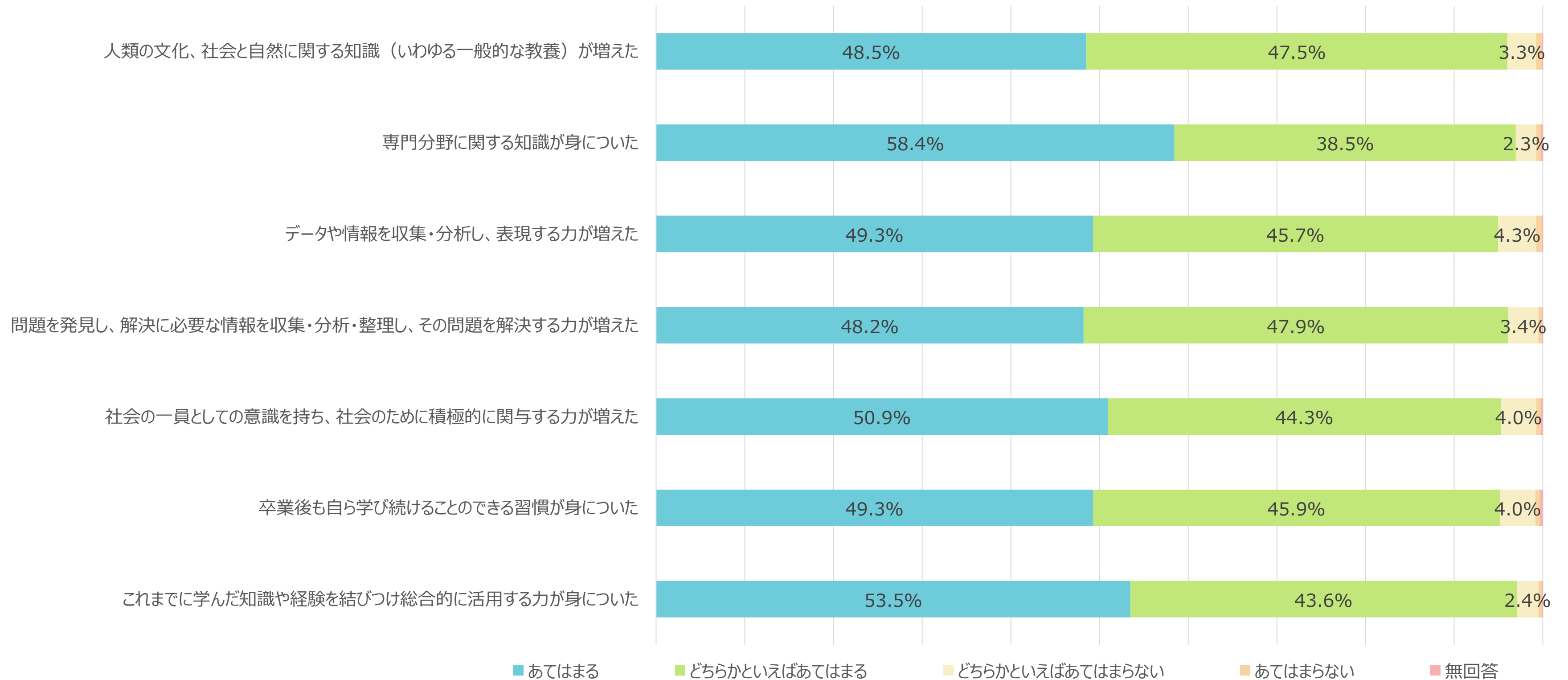


# 入学した時点と比べて、能力や知識はどのように変化したか

	能力や知識の変化について	あてはまる	どちらかとい えばあてはま る	どちらかとい えばあてはま らない	あてはまらな い
1	人類の文化、社会と自然に関する知識（いわゆる一般的な教養）が増えた	4	3	2	1
2	専門分野に関する知識が身についた	4	3	2	1
3	データや情報を収集・分析し、表現する力が増えた	4	3	2	1
4	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決する力が増えた	4	3	2	1
5	社会の一員としての意識を持ち、社会のために積極的に関与する力が増えた	4	3	2	1
6	卒業後も自ら学び続けることのできる習慣が身についた	4	3	2	1
7	これまでに学んだ知識や経験を結びつけ総合的に活用する力が身についた	4	3	2	1

# 入学した時点と比べて、能力や知識はどのように変化したか

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%





# 2021年度卒業時調査結果の分析

## ○大学の満足度について

- ・大学の満足度については、どの学科・学部も2020年度と比べ「満足・ある程度満足」の割合が向上し、9割を超える満足度となっている。
- ・2020年度の結果では芳しくなかった部活動・サークル活動についても大学全体で「満足・ある程度満足」について改善がみられる。これは新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きをみせ、一部が活動を再開したことも数値の向上に関係しているとみられる。

## ○入学時と比較した能力や知識について

- ・2021年度の調査では、どの調査結果においても能力や知識は2020年度に比べて数値の向上が見て取れる。
- ・知識経験を統合的に活用する力は、どの学部学科も身についたと肯定的な割合が高いが、卒業後も自ら学び続ける習慣については、一部の学科で10%前後に否定的な割合が高いことは留意すべき点である。